



わくわく ゆったり 楽しく

ももたろう
活動報告



◆ 主な活動と空き状況 [11月1日現在]

入浴 火 × 金 × ※ ○は空きがあります

【第1】

月	×	歌唱指導
火	○	手芸(押絵)
水	×	歌手品ゲーム
木	×	習字
金	○	生演奏での歌
土	×	レクリエーション ヨガ

【第2】

月	×	アート制作
火	×	手芸(押絵)
水	×	手芸(押絵)
木	×	習字
金	×	アウトドア
土	×	アウトドア 調理等

津軽三味線の北川氏の紹介で、10月に初めて“江戸芸かっぽれ”の方々が踊りを披露して下さいました。ノリの良さが特徴的な“かっぽれ”ですが、ご存じの方が多く半面、見たことのある方は2名のみ。日本の伝統芸能を身近で体験する事ができ、感動もひとしおでした。先生は市民歌舞伎や一人芝居もこなすそうで、クリスマス会の日程に都合がつけば、一人芝居を披露して下さいます。

デイサービス
ももたろう
momotaro

東京都府中市矢崎町 2-3-5
TEL 042-366-5248
FAX 042-366-5239
WEB <http://mtaro.jp>
事業者番号:1373801685

※ 写真の転載はご遠慮ください。

人の生き方を変える仕事。

先日、『NPO法人 菜の花 心のケア支援隊』の理事であり、大学でも教鞭を振るわれる高橋来緒氏が“デイサービス ももたろう”において下さり、対談する機会に恵まれました。高橋氏は、ご利用者、ケアスタッフ、看護師、管理者等の心のケアや、福祉施設の運営支援で全国を飛び回られている方です。

対談中に高橋氏が、講演会でもよくお話しになるという「現場で知り合った、尊敬するヘルパーさん」の話をしてくださいました。とても印象深かったので紹介します。

山田さん（仮名）は60代後半の女性ヘルパー。糖尿病と重い統合失調症を患う方の支援に、一日3回の食事作りで訪問介護の仕事に入りました。まず山田さんは「糖尿病とは何か」を独学で勉強し、糖尿病に良いとされる食事を栄養学の観点から習得していきました。

冷蔵庫には、管理外のカロリーを摂取しないように錠が施され、厳しいカロリー制限が課せられています。支援時間も1回あたり1時間。30分で調理し、残りの30分で摂食の見守りと片付けという内容。がんじがらめの制限の中でも7品を作りあげ、味も量感も好評だったそう。

毎日毎日お宅に伺い、三食を作り続けました。支援が始まって3カ月後、受診に訪れた医者は驚きを隠さずに「もう糖尿病の薬を飲む必要はありませんね」と告げたそうです。

その後も山田さんは毎日食事を作り続けました。「私は当たり前のことをしているだけ。ほかのスタッフも同じ事が出来るようになれば嬉しい」と高橋氏には告げ、誰に誇るでもなく、ただ黙々と支援を続けました。

あの施錠された冷蔵庫の扉には、100種類を超える食材のカロリー量が、一目でわかるようにと、びっしり書きこまれているそうです。「これなら私がいつ倒れても、誰か替わりができるでしょ」と。

山田さんが作っていたものはきっと、料理だけではないはず。

訪問介護はお客様とケアスタッフ、一対一のお仕事です。そのため、良くも悪くも情報がなかなか表に出てきません。この山田さんの件も、外部の高橋氏が仲介しなければ、きっと表には出てこなかったでしょう。確かに山田さんは、当たり前の事をしているだけかもしれませんが、しかし、介護職にはイメージリーダーが不足しています。介護職全体のイメージ向上のためにも、この業界で働く人々の為にも、声を出していく必要性・情報を発信していく必要性を感じない訳にはいきませんでした。